

道写協

北海道写真協会

事務局 ■札幌市中央区大通西3丁目6道新文化事業社内
 011-2105735(直通) 011-2073939(FAX)
<http://www.doshakyo.org/>

第137号

支部長会議(総会) 報告

5月20日(日)北海道新聞社会議室で、平成30年度支部長会議(総会)が開催されました。会議には23支部長が参加、本郷正利会長が欠席で、代わって森哲副会長がこれまでの総括と課題を話しました。今回は第65回記念事業として写真家米美知子氏を審査委員長に招聘、作品集に特集「歴代大臣賞作品」の掲載、道写協に貢献して頂いた方々に「記念表彰」の授与を行いました。会員の高齢化と共に会員数の減少は年々深刻な課題であり、役員体制の維持にも支障をきたしています。第66回に向かつては事業の廃止、縮小と見直し、又経費削減の必要性を話しました。



引き続き北海道新聞社事業センター事業委員の若林直樹氏から、日頃の支部活動や各地での道新事業への支援のお礼が述べられました。65回を迎えた写真道展の歴史は、写真界や機材の進歩と共に、北海道の写真界をリードしてきました。2025年後期高齢化社会を迎えるにあたり、道写協組織写真道展の存続を維持する為に、本部支部が一体となって対策を講ずる必要があります。今後のご支援をお願いしたいと挨拶をされました。

その後、出席支部長及び役員を紹介、議長に滝川支部の渡辺精郎氏が選出され議事に入りました。

一、事業報告

①各委員会、会議報告(大平事務局長)
 ◎写真協会関係
 役員会、企画委員会各5回開かれました。

◎写真道展関係
 年4回の定例実行委員会開催、第65回写真道展審査会の審査内容が報告されました。

審査委員長に米美知子氏(写真家)、学生写真道展審査委員長に阿部悦子氏(札幌)。

②第65回写真道展審査報告(瀧野実行委員長)
 公募の出品数は5,169点、出品者4,022名支部会員170名(40%)と8年連続5千点台の応募数が維持されましたが、ここ数年応募数の減少が目立ちます。入選率は5%で依然として難関です。入賞・入選点数270点、実質入選者数は178名(会員97名55%)女性49名、第36学生写真道展応募点数1,094点415名でした。

③事業報告(大平事務局長)
 第64回写真道展公募展は札幌(入館者2,467名)を皮切りに全道14会場で開催。「2017年北海道写真協会支部長会議」「第64回写真道展表彰式」「祝賀会」を5月14日に開催、「道写協会報」134〜136号発行。審査員の派遣3支部年度賞額の申請は13支部。また第36回学生道展覧会(札幌)3月22〜27日、表彰式は3月25日に開催されました。

二、決算・会計監査報告(瀧野、阿部会務委員)
 収入・支出の部で前年度と比べ大差なく、現状維持が保たれました。川原監査委員から、監査報告が行われました。

三、事業計画(大平事務局長)
 第65回写真道展作品展(札幌)は道新ぎやらりー、DO-BOXにて開催中。以後15会場を巡回、巡回展日程の変更:別海町立中央公民館7月12〜15日に変更。平成30年度審査員・会友展5月24〜29日道新ぎやらりー。2018年北海道写真協会支部長

会議「第65回写真道展表彰式」祝賀会を5月20日に開催。道写協会報の発行(137〜139号)審査員支部派遣支部年度賞授与は継続実施。第66回写真道展の応募受付は平成31年2月1〜10日、審査は同年3月2〜3日。「第66回写真道展」5月16〜21日「平成31年度審査員・会友展」5月23〜28日両展会場道新ぎやらりー
 四、平成30年度会計予算(瀧野、阿部会務委員) 会計予算案は、原案通り承認されました。
 五、第64回写真道展・作品集会計報告
 (小室、五東実行委員)今回から支部長会議席上で、写真道展・作品集の会計報告を行う事になりました。



授 賞 道展大賞 輪島礼子さん
 道新文化事業社社長 山崎 隆志氏

◎質疑応答 支部からの主な質疑に対し一括で回答します。最終審査通過印について」第63回から第3次審査通過した全作品にスタンプを押していきます。

「巡回展作品輸送について」昨年6月に輸送費が高騰し、従来の輸送では高額で「JIT BOX」の利用を推奨します。また、木箱の縮小化も検討して行きます。

「お問い合わせ」日本実業会務委員(巡回展担当)特別会計進捗報告について」第65回記念事業の会計進捗状況を報告しましたが、来年の支部長会議で改めて決算報告をします。

「返却写真毎にカバファイルムを!」作品集の返却にあたって1枚毎にカバファイルムに入れる事は作業上困難。ご理解を。

六、審査員・会友の承認
 ●審査員承認 川原静雄(小樽)
 ●会友承認 壬生由美子(苫小牧) 裏征子、貝沼

「議案書に作品集の支部割当表の挿入」議案書に作品集の支部割当表を挿入の希望があり、次回から致します。

「返却写真毎にカバファイルムを!」作品集の返却にあたって1枚毎にカバファイルムに入れる事は作業上困難。ご理解を。

正雄(以上札幌 数伸一(音別) 千葉逸子(道北)
 七、審査員・会友の退会
 ●審査員退会 志賀芳彦(旭川) 吉江和幸(函館)
 ●会友退会 村上和子(札幌)
 八、規約改定案(抜粋)
 「北海道写真協会規約」第1条の「道写協」の名称を削除する改正案に1考を要するとの意見があり、再度検討し次回支部長会議に提案致します。
 「写真道展要綱」改正部分を記載
 【構成と任期】
 「招待審査員一名」に改称と定数の変更。
 「3.全国レベルの写真展を開催した者」を削除。
 「3.全道レベル以上の」を削除。
 以上の改正部分が報告されました。

九、第65回記念表彰
 ◎功労賞 小林功男(紋別) 山下智、中野潤子、森田稔、坪川輝子、阿部悦子、宮川恵子以上札幌、森敏尚(有見沢)、斎藤優子(栗山)、齊藤たけし(苫小牧)、佐々木良(室蘭) ◎感謝状 奈良美弥子(札幌) 高橋直二(小樽) 佐藤精一、大平博雄以上苫小牧、佐藤明(室蘭)

十、承認と確認事項
 左記の事項については、第66回から実施に向け準備を進めています。
 ①学生写真道展の廃止に伴っての新設について
 道展公募に第4部を造設し、学生を対象とした「学生」の部の新設を検討しています。

②祝賀会開催の中止
 参加者の減数と業務軽減化のため、記念回(今回は70回)を除き祝賀会の開催を中止します。

③作品集の全面的な見直し
 販売部数の減少等に伴い、価格、装丁、ページのレイアウト等を見直し、購入しやすい作品集を目指します。

④各部への応募点数の制限
 現行の応募点数は、各部通算30点以内で応募ができました。改定では各部10点以内の応募とします。全応募数30点以内は変わりません。

⑤会員名簿の作成について
 変動の激しい会員名簿は、今後審査員、会友、支部長、役員のみとし、個人情報保護の観点からも一般会員の記載を省略します。

渡辺議長退任挨拶で支部長会議は終了しました。支部長の皆さまから活発な論議、また貴重なご意見を頂き感謝申し上げますと共に、お疲れ様でした。

(文責:森 哲)

第65回写真道展記念表彰

協会に20年以上功績のあった方に功労賞、10年以上発展に尽くした方に感謝状を贈り、功績をたたえました。



前列は功労賞受賞者、後列は感謝状受賞者
氏名は1頁参照

新審査会員く私の抱負



川原 静雄
(小樽)

この度は感謝の思いと責任の重さに身の引き締まる思いです。
今後も見る人に感動を与えるインパクトのある写真を目指しながら、多くの先輩や写友

との出会いを大切にし、楽しみながら写真を続けていきたいと思います。また、道写協の活動を通して、写真の普及・発展に微力ではありますが貢献できればと思います。

新会友は6名

5月20日写真道展祝賀会の席で、新会友に認定証が贈られました。



新会友の皆さん
左から 裏 征子(札幌) 貝沼正雄(札幌)
壬生由美子(苫小牧) 藪 伸一(芦別)
千葉逸子(道北)



新会友
山形典夫
(札幌)
6月21日 承認

変わります

来年の写真道展から第1部く第3部、各部最多10作品までの応募となります。すべての応募数限度は30点です。

第4部は学生の部門

従来の「学生写真道展」を「写真道展に統合し、第4部として若い世代の作品を募集します。今後発表される応募要項を参照してください。

随想=私の一枚

(シリーズ-63)

審査会員 札幌

中野 芳生

「初対面」



この写真は常にカメラを持ち歩いて撮影するようになってから5く6年たった頃で、写真道展に入賞したときの作品です。

それ迄はモデルや風景等を撮ることが多かったのですが、その頃は我が家の子供達もまだまだ小さい頃で、作品のほとんどが子供達中心になっていました。

どこへ行くにもカメラを片手に歩いていて、この日出産の知らせを受けたときもカメラを持って病院に駆けつけました。

院内はもう暗く、赤ちゃんを面会で見る場所は廊下の突き当りにありました。明るい窓の前で待っていると、奥から看護婦さんに抱かれた赤ちゃんが現れました。新しい家族との初対面の喜びの中で、赤ちゃんが大きなあくびをしたときに一緒に

来ていた次男が小さな手を伸ばしました。

ここぞとばかりにシャッターを切りました。10枚程も撮影したと思います。窓の向こう側だけが煌煌としていて、露出の点で次男を入れるのには苦労しましたが、我が家に帰ってからの現像が楽しみになる瞬間でもありました。窓を隔てて交差する想いや視線をうまくとらえられたと思います。

子供相手の写真では予測できない動きが多いので、瞬間をとらえるのは難しいのですが、そのぶん良い作品になった時の喜びが大きいのもかもしれません。

(第25回写真道展 第4部社会福祉・医療部門第1席 厚生大臣賞受賞)

支部探訪ー旭川

支部長 白鳥 敏昭

■創立50周年記念式典・祝賀会を開催

旭川支部は昭和44年6月1日に創立、当時会員は82名に及び現在まで写真に係わる優秀な人材を数多く排出してきました。

その後、世の中が大きく変貌する中、紆余曲折を経て現在は会員25名(男18名女7名)の組織として、旭川を中心に上川中部部の写真文化の向上と会員相互の親睦を図りながら活動を続けてきました。今年6月1日には創立50周年を迎え記念式典・祝賀会を開催する事ができました。



旭川支部創立50周年記念式典・祝賀会

しかし、創設者であります志賀芳彦先生がこの日を待たず昨年12月にご逝去され本当に残念でなりません。

■芸術性を求める支部活動

例会では独自の投影機を考案し、作品を大きなスクリーンに投影し、会員が共に鑑賞しながら顧問の先生から講評を受けるなどの工夫をし、会員外でも希望者は例会を見学出来る等の幅広いPR活動を展開、今年は新たに数人の若い方の入会がありました。支部活動の活性化に大いに期待しています。

例会は道新旭川支社の会議室で毎月第2木曜日に会員が一人3点ずつ作品を持ち寄り写真技術の向上、各自の感受性と表現力の向上を目指しています。例会の成績の合計で年度賞、準年度賞、奨励賞、敢闘賞、新人賞、最高作品賞等の表彰を北海道新聞社旭川支社、道写協本部からの支援を頂きながら毎年新年会の席上で表彰を行っています。

■作品発表の場として

毎月の例会で選出された作品を道新(地方版)に掲載。写真道展巡回展と道写協旭川支部展を連続して2週間写真展を開催しています。毎年行われる旭川写真連盟展にも会員全員が積極参加、市の施設を活用し毎年5月にミニ写真展も開催しています。

■会員の仲間としての絆は強く

毎月支部報を発行、その月の出来事やイベント情報などを共有し、また撮影会も日帰り



白鳥敏昭支部長作品 「閃光」モノクロ

撮影会と宿泊撮影会の年2回開催しています。撮影会後日、各自自慢の作品一枚を持ち寄り、参加者の互選で優秀作品を3点選び楽しい反省会等で、会員相互の交流と親睦を深めています。

■旭川市民との交流を目指して

市民との交流、地域写真文化の向上を目指して消費者協会、緑のセンターで年3回初心者を対象に写真講座を行い、温室や庭園、公園等で撮影会を行っています。支部会員も多数参加、その作品展示会も行っています。

■魅力ある作品作りに

旭山動物園は撮影技術向上には最高の場所。大雪山も四季折々の姿を見せ、毎年山開きには安全祈願祭、郊外の川はハクチョウ等渡り鳥の中継地となり、美瑛・富良野の観光地も隣接していて、魅力ある作品作りに頑張っています。

■変わりゆく世の中と写真

デジタル技術の発達で、誰でも何処でも重い機材を持つこと無く簡単に綺麗な写真を撮る事が出来る時代となりました。また写真の作風も時代と共に変化して来ましたが、しかし、これも今までの写真技術の積み重ねの上に、その延長線上にあると思います。

街の景色は変わっても人の服装は変わっても、人間は何時も何らかの感動を求めて生きています。だからこそ写真はその一瞬の感動を切り取り、現状を正確に後世に残す唯一の世界だと思えます。これからも写真道展を第一の目標として写真の持つ固有の価値や重要性を大切に活動してまいります。

写真集出版 案内

札幌支部 朝日均さん 写真集

「しずくの玉響舞(たまゆら)」

ライフワークの「しずくの動態による造形」で新しい世界の発見を試みています。



全頁カラー
札幌 紀伊国屋書店で販売中 ¥1,000+税

支部例会成績

札 幌 支部長 山本隆晟

▽4月例会(20日 山下智審査員選考)

- ①林繁造②安田敏彦③飯高光紀④掛村一憲⑤原禎子⑥渡辺勝⑦浦崎毅子⑧難波江⑨二戸健吾⑩村田伸一

▽5月例会(18日 中野潤子審査員選考)

- ①安田敏彦②朝日均③林繁造④飯高光紀⑤渡辺勝⑥貝沼正雄⑦山形典夫⑧掛村一憲⑨府中紀⑩浦崎毅子

▽6月例会(15日長谷川純一特別講師選考)

- ①山形典夫②山岡勝③原禎子④安田敏彦⑤坂本千恵子⑥飯高光紀⑦阿部けい子⑧脇田健司⑨見野則幸⑩笈川浩一

▽7月例会(20日武藤省吾審査員選考)

- ①二戸健吾②坂本幸夫③掛村一憲④坂本千恵子⑤梅澤勇二⑥浦崎毅子⑦安田敏彦⑧難波江⑨米澤三千代⑩林繁造

小 樽 支部長 川原静雄

▽5月例会

- (9日瀧野邦保審査員選考)

- ①松居秀昭

- ②根本辰男

- ③嵯峨秋雄

- ▽7月例会

- (4日小泉和子審査員選考)

- ① 條周一

- ② 根本辰男



5月例会 1位「宵の花道」カラー 松居秀昭

岩見沢 支部長 山崎正義

▽5月例会(審査互選)

- ①鈴木佳夫②斐田祥健③伊藤博章④中川昌子④榎野紘一

▽6月例会(審査互選)

- ①⑤中川昌子②輪島礼子③友広茂夫④伊藤博章⑦7月例会(審査互選)

釧 路 支部長 石川 隆

▽3月例会

- (8日片村洋市審査員選考)

- ①長尾芳文

- ②鈴木啓司郎

- ③高橋米子

- ④蝦名昇

- ⑤北構善二郎

- ⑥林田定昭



3月例会 1位「飛び立つ」カラー 長尾芳文

室 蘭 支部長 佐々木昇

▽3月例会(23日 審査互選)

- ①田村謙次②③大坪恵子・鳥海政史③枋元幸一(入選)成田正利・今井富夫・吉井良平・森美津雄・太田秀樹

- ▽5月例会(25日 浪岡和雄審査員選考)

- ①太田秀樹②③田村謙次②尾形和雄③鳥海政史・大坪恵子(入選)今井富夫・齋藤真澄・森美津雄・長澤剛

▽平成29年度例会成績

- 1位 鳥海政史 2位 大坪恵子 3位 田村謙次 4位 成田正利 5位 太田秀樹

函 館 支部長 松山 浩司

▽1月例会(石島忍審査員選考)

- ①なし②③宗山和夫②小池貞子③土田多江子(入選)互選 岩本一志・佐藤真奈美ほか

▽3月例会(石島忍審査員選考)

- ①③保科俊一②荒木憲行②土田弘志③小池貞子(入選)互選 岩佐敏子・渡部啓二ほか

- ▽5月例会(石島忍審査員選考)

- ①岩本一志・松山浩司②土田弘志③保科俊一(入選)互選 岩佐敏子・土田多江子ほか

余 市 支部長 一戸弘利

▽3月例会(31日 審査互選)

- ①④⑨石岡誠三②⑦塩野謙造③⑥⑨谷橋誠子⑤⑧⑩青木延広⑧⑨⑩後藤芳江

- ▽5月例会(12日 審査互選)

- ①②⑥石岡誠三③⑤⑥塩野謙造④⑥谷橋誠子⑥後藤芳江

- ▽6月例会(16日 審査互選)

- ①②石岡誠三③④塩野謙造⑤後藤芳江⑤⑥谷橋誠子⑥⑦一戸弘利

- ▽平成29年度例会成績

- 1位 石岡誠三 2位 塩野謙造 3位 谷橋誠子 4位 谷橋準一 5位 青木延広 6位 一戸弘利

恵 庭 支部長 西澤 實

▽5月例会(14日 審査互選)

- ①佐野ミヨ①白昼夢②村井正人③中岡正美④吉村剛⑤西澤實・吉村登美子・坂田一紀



5月例会 1位 カラー「白昼夢」佐野ミヨ

▽6月例会(11日 審査互選)

- ①加藤憲秋②吉村登美子③西澤實④佐野ミヨ・由中康夫⑥中岡正美⑦吉村剛・目黒健⑨村井正人

- ▽7月例会(9日 加賀谷重雄審査員選考)

- ①西澤實②佐野ミヨ③村井正人④吉村登美子⑤加藤憲秋⑥中村忠司⑦中岡正美⑧神能俊行⑨田中康夫

栗 山 支部長 黒田幸則

▽6月例会(15日 山岸幸雄審査員選考)

- ①②中島武士②③斎藤優子③敦賀千恵子(入選)中島武士・黒田幸則・斎藤優子・敦賀千恵子

旭 川 支部長 白鳥敏昭

▽4月例会(12日 田村健太郎審査員選考)

- (特選)①武田千枝子②小山満③白田忠雄④⑤細川貞子(入選)白鳥敏昭・山本義則・吉田祥子・佐藤繁雅

▽5月例会(10日 田本實審査員選考)

- (特選)①白鳥敏昭②細川貞子③山本義則④宮野和子⑤吉田清治郎(入選)武田千枝子・森田正義・佐藤祐子・小山満・吉田祥子

▽6月例会(14日 福田光男審査員選考)

- (特選)①白鳥敏昭②山本義則③佐藤繁雅④小山満⑤宮野和子(入選)吉田祥子・細川貞子・森田正義・浦島寛・武田千枝子

留 萌 支部長 崎出恒夫

▽4月例会(15日 審査互選)

- ①高山亮太②松葉師正③川上正己④加藤美佳⑤畑忠幸

▽5月例会(13日 審査互選)

- ①②澤岡政江②④加藤美佳③高山亮太⑤畑忠幸

▽6月例会(23日 審査互選)

- ①松葉師正②③澤岡政江③畑忠幸

▽7月例会(8日 審査互選)

- ①澤岡政江②③崎出恒夫③川上正己

第65回写真道展巡回展日程

三笠市民会館	8月11日～ 8月13日
蔵田夢内デザインギャラリー	8月24日～ 8月27日
市立小樽美術館	9月 5日～ 9月 9日
苫小牧市文化交流センター	9月13日～ 9月16日
北網圏北見文化センター	9月26日～ 9月30日
根室市総合文化会館	10月 5日～10月10日
函館市芸術ホール	11月22日～11月25日
網走市立美術館	12月25日～ 1月20日
だて歴史の杜カルチャーセンター	2月 1日～ 2月 7日

8月以降の巡回展の日程です。お近くの会場で開催には、会員を始め多くの皆さまにご覧頂きますよう、ご案内致します。

編集後記 平成30年度支部長会議、第65回写真道展の表彰式、祝賀会および公募作品展、審査員・会友展とめぐる楽しい5月でした。

会員の皆さまのご支援、ご協力で無事終えることができました。この場をかりまして厚くお礼申し上げます。(森)